

と熟練スタッフによる支援事業です。

風洞実験は広く産業界に技術データを提供してきました。

流体科学研究所の風洞は航空宇宙分野をはじめ、鉄道、自動車、電機などの各産業に幅広く利用されております。航空機の設計はもちろんのこと、鉄道の車両やそのパーツの空力性能試験、自動車の空力特性試験、気流が性能に関連する家電製品の設計にも用いられてきました。

環境・省エネ技術開発に風洞実験を利用しませんか。

環境負荷の低減と資源的制約の克服が、21世紀の人類が直面している最大の課題です。大学の研究者も民間企業の技術者も、これらの課題に挑戦していかなければなりません。風洞実験装置は、空力性能や耐風性能の向上、騒音の軽減などの基礎データを提供することで、これらの技術開発に貢献することができます。企業のみならずにも当研究所の風洞を製品開発に利用頂けるようお願いしております。

Donghyuk Kang 姜 東赫

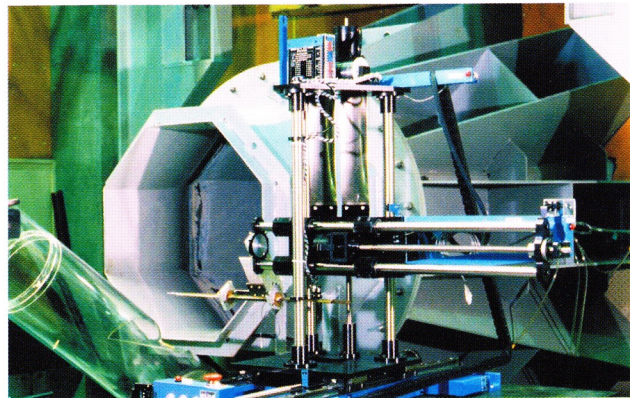
Institute of Fluid Science, Tohoku University,
Research fellow, Dr, Eng.



低乱風洞

本風洞は、各種の基礎研究に使用できるように設計された回流型の汎用低速風洞です。

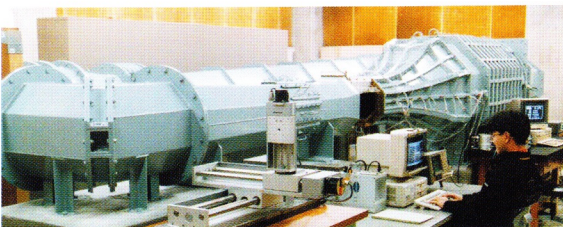
測定部は開放・密閉両型式に交換可能であり、風の性質が極めて良い（乱れ強さが極めて低い）のが特徴です。また、風の一様性が極めて良い（本風洞の風速分布の平均風速からの偏差は僅かに0.2%以内）のも、もう一つの特徴です。



小型低乱風洞

本風洞は、小回りがきいて手軽に実験の出来る小型低乱風洞です。

現在本風洞は、小寸法の模型を用いた実験研究や実験に使用する各種プローブ類の検定、低乱熱伝達風洞を用いての実験に先立つ予備実験などに常時使用されています。



低騒音風洞

本風洞は、大気吸込み式の低騒音風洞です。

本風洞は、気流にさらされた物体から発生する流体騒音の発生メカニズムや騒音制御などの研究を行うことを目的に作られ、様々な物体の流体騒音低減の実験に使用されています。

